

教科名	音楽科	週時間数	1時間	学年	2年
使用教科書 及び 副教材等	教科書 中学生の音楽2・3上 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) 副教材 Joyful Songs (新学社) 音楽のハーモニー (正進社)				

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 ・多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。 				
--------	---	--	--	--	--

目指す姿	支え合う	相手の意見や演奏活動を聞き、受け入れ、認めながら、自分を表現することができる姿。 鑑賞では、発表し合い共有し、音楽の多様性を理解することができる姿。
	高め合う	話し合い活動やパート練習などを通して、自分の考えを見直したり、他者と比較したりする中で、新たな表現方法や感受することができる姿。

学習の進め方	【学習への取り組む姿勢】 ○毎時間、「振り返りシート」を活用し、めあてと振り返りと、課題を記入する。 ○教科書やワークを使って歌唱、楽器演奏をする。 ○自分たちでパート練習を行い、正しい音程で創意工夫し表現する。 【家庭学習】 ○基本的にありません。 【端末の活用】 ○世界の様々な音楽や我が国の伝統音楽を調べる。 ○自分たちの合唱を録画して観る。				
--------	---	--	--	--	--

定期テスト	出題方針	授業の内容を中心に出题する。			
	範囲 (予定)	1学期中間	実施しない		
		1学期期末	1学期のまとめ		
		2学期中間	実施しない		
		2学期期末	2学期のまとめ		
		学年末	1年間のまとめ		

評価方法	観点	評価の方法	評価について
	知識・技能	美しい音・正しい音程・豊かな表情で表現力豊かに表現活動をしている。音楽を形作っている要素・生み出す特質・雰囲気を感じ取っている。 ●授業の様子、ワークシート、期末テスト	
思考・判断・表現	音楽を形作っている要素を感じ取り、楽曲の特徴に気付く。作曲者の思いや工夫されている点を、音楽を形作っている要素で説明することができ、表現の工夫に繋げようとしている。		・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌唱したり演奏したりできたか。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して表現を工夫しながら合わせて歌うことができたか。 ・姿勢や表現方法を工夫しながら、豊かな表情で表現することができたか。
主体的に学習に取り組む態度	音楽活動に意欲的に取り組み、進んで話し合いに参加し、自分の考えを発表している。提示されためあてに沿って熱心に取り組んでいる。 ●授業の様子、振り返りシート		・音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、理解することができたか。 ・歌詞の内容や音楽の要素・構造・背景などを理解することができたか。